

中国臨床研修ツアー報告

森ノ宮医療学園専門学校 鍼灸学科 上藤美和

今回8月19日から26日までの7泊8日中国臨床研修ツアーに通訳として参加してきましたので、そのご報告をさせていただきます。

今年は山東省煙台市という地方都市の煙台市中医病院で実習、見学したのですが、病院敷地内に宿泊施設、食堂が整っており近くに小さなスーパーやお店もあったので、勉強するのにとてもよい環境でした。実際私たちが行く前にアメリカからの学生さんたちも1ヶ月程実習をされていたとのことでした。

中国の朝は早く、6時頃にはもう外で病院建て替えの工事の音がしていました。私たちは7時半頃から朝食をとり8時から午前中の実習に行きました。

一週間を通して主に鍼灸科、中風科の先生方に付いて見学したり講義や実習をしていただいたりしました。あちらでは脳血管障害と顔面神経麻痺の患者さんが多く、それらの疾患の検査法、鑑別法、中医学的な弁証の立て方、そしてそれに基づく治療法について詳しく教えていただきました。特に鍼の技術については補法と瀉法の違い、指の動くスピード、得気の与え方などとても刺激を受けました。

銭先生の「飛鍼」という特殊な頭皮鍼は、先生の手の動きと鍼が飛ぶように次から次へと患者さんの頭皮に刺さっていき、芸術的ですばかりました。実際私たちもおそろおそろ体験してみたのですが、あまりの早さに痛みを感じるまもなく圧倒されました。しばらく置鍼しておくと、知らない間に鼻水が止まっていま



した(風邪を引いてしまひ鼻水が出てくしゃみばかりしていたのです)。

付先生の功法推拿もとても興味深かったです。推拿にいろいろな手技があるのは知っていましたが、カンフーをしながら推拿をするというのは初めて見ました。終わった後、思わずみんなが拍手をしてしまうほどすばらしかったです。カンフーの動きをしながら気持ちを集中させて目の前の患者さんに治療を施す、そんな付先生の気迫を感じました。



午後は2時半から講義を聴くことが多かったのですが、陳副院長先生のお話がとても心に残っています。煙台市出身の高齢の先生なので、煙台訛りがきつく通訳するのに苦労しましたが、辛抱強くとても熱心に教えてくださいました。主に中医弁証の診断や切診についての内容でしたが、これから将来中医をどう発展させていくか、また日中間で医学的な交流がもっと進むようにと私たちの訪問を大変喜んでくださいました。また体調を壊していた人には漢方薬まで処方していただきとても感謝しています。

今回の研修ではたくさんの方にお世話になりました。直前にサッカーのアジアカップでの騒動があったりしてかなり不安を抱いていたのですが、実際行ってみるとみなさんとても親切で町で買い物していても、お話ししていても全く反日感情を感じることはありませんでした。日本で報道されているようなことは中国のほんの一部分なのだと思います。

実習以外では、お昼の休憩時間に病院の美容整形科で漢方薬に基づく美容エステを受けたり海岸を散歩したり、また夕食後は夜市に出かけて買い物をして屋台で煙台ビールを飲んだり、足裏マッサージでリラックスしたりと、各々自分の時間を楽しんでいました。病院が休みの日曜日にはバスで2時間ほどの蓬萊市へ行き、日本の七福神の元である八仙人が海を渡ったと言われている所を見してきました。自由時間はそれほど多くはありませんでしたがみんなそれぞれがそれぞれの中国というものを感じたと思います。

今回初めて中国本場の鍼を見て実際にあちらの先生方ともお話しさせていただき、本当に貴重な体験をさせていただきました。自分の目で見たこと肌で感じたことを忘れず、明日からの臨床に役立て、また学生さんたちにもしっかり伝えていこうと思います。

医学的知識を身に付けるための専門書を読むことの大切さはもとより、こうした実践に即したトレーニングを受けることは、何よりも学習してきた内容をフィードバックするのに最適な方法だと、受講されている学生さん達の真剣な表情を見て感じました。ロールプレイ方式だと術者役は聞く内容、聞き方、これは声のトーンや表情、スピードを含むあらゆることに注意を払わなければいけないし、それによって患者役の回答内容が様々に変わってくるという面白さがあります。

この授業で私が最も魅力的に感じたことは、一つの質問に対し幾通りもの回答があり、またそれに対し幾通りもの質問を用意しなければならないという、マニュアルがまったく通用しないことを認識させられるところでした。

そして同時に、このことは学習してきた内容やその方法を向上させるのに非常に効果的であるとも思いました。実際、医療現場ではマニュアル通り教科書通りばかりでは対処しきれないことが多々あります。そういう意味ではすでに医療現場で働いている先生方にもぜひ見学されてみてはと思いますし、こういった教育を受けずに卒業し、就職された方々には勉強する機会をもっといただけたらとても役立つことだと思います。

当鍼灸院でも今後取り入れていけたらと考えています。このセミナーは私にとっては参加されていた学生さん達以上に得るところが多かったように思います。